

平成30年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立ひばりが丘学校

●全国学力学習状況調査(小6・中3)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	文章とグラフとの関係を読み取る。	52.6	全問で、都、全国の平均を超えることができた。1年生から、主体的に自分の考えを持ち互いに協力し合う活動を3年間継続した成果が無回答率の低さからもわかる。	国語B問題で正答率が低い問題があった。グラフから情報を読み取り、相手に説明する活動や、自分の考えをわかりやすく伝えるための書く訓練をしていきたい。
	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く。	17.4		
	相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く。	57.9		
算数・数学	一次関数 $y = -2x + 6$ が表すグラフを選ぶ	52.6	学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式のどの分類についても都、全国の平均を超えることができた。既習事項の復習を反復的に行ってきたことが、全領域を通しての基礎基本の定着へとつながっていることがわかる。	与えられた情報を的確に処理し、数学的な表現を用いて説明する力が低い。引き続き、答えだけにとらわれず、考え方をまとめたり、説明する活動を通して見方、考え方、説明する力の伸長を図っていく。
	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	21.6		
	通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	14.2		
理科	光の反射の幾何学的な規則性についての知識・機能を活用できる	60.5	全問で、都、全国の無回答率の平均を下回ることができた。学力調査に対する本校生徒の真摯な姿勢を感じる。自分の考えを持ち表現する力が身に付いていることが分かる。	自然現象を感覚でとらえることはできていても数学的に理解・説明する力が低い。また、成功体験を最優先に学習活動に取り組んでいたため、失敗した現象を思考し正解を導き出す力の弱さが見られた。
	濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる	30.5		
	炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる	40		

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(小5・中2)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	解決する力	66.9	すべての観点において、都の平均を上回ることができた。今後、読解を中心に読み解く力に関する内容を高めていく。	全体的に都の平均を超えているが、その中でも読み取る力を伸ばし、解決する力とともに向上させていく。
	読み取る力	69.1		
	話す・聞く	69.3		
社会	取り出す力	67.6	観点別の調査結果からは、関心・意欲・態度の観点を除くと全ての内容で都の平均を上回ることができた。読み解く力に関する内容をさらに高めさせたい。	取り出す力に対して読み取る力のポイントが大幅に低い。資料や事象を多角的に読み取る活動を授業の中に多く取り入れ、読み取る力を向上させたい。
	読み取る力	49.4		
	解決する力	54.3		
算数・数学	関心・意欲・態度	75	「意欲・関心・態度」についてを除くとすべてにおいて都の平均を上回ることができた。「解決する力」では+20.7%と大きな成果が見られた。	全体を見ると、「知識・理解」を更に伸ばし、基礎基本を徹底することにより、応用力をつけさせていきたい。
	思考・判断・表現	49.6		
	知識・理解	65.3		
理科	知識・理解	47.8	思考・判断・表現する力が身に付いてきている。今後も実験・観察の中で思考をする力が育てていく。	知識・理解が正答率が半分以下である。基礎・基本を確実に定着させ、実験・観察を中心に解決する力を成長させていく。
	読み取る力	49.1		
	解決する力	18.5		
英語 ※中学校のみ	思考・判断・表現	18	取り出す力・読み取る力が都の平均を上回ることができた。今後も継続的に読解問題を解く中で、内容を的確に把握する力をつけさせたい。	思考・判断・表現する力が不十分である。自由英作文やスピーチの機会を授業の中で多く取り入れ、自分の伝えたいことを表現する力をつけさせたい。
	取り出す力	50		
	読み取る力	59.7		